ジョリパット不燃 JQ-200シリーズ 校倉S仕上げ 施工の手引き

平成19年5月25日【初版】

アイカ工業株式会社 第二R&Dセンター 建設樹脂開発グループ

## <使用材料>

材	料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シー	ラー	์ ง ั	水性タイプアクリル系 1 液型透明シーラー	1 8 kg石油缶	約514㎡/缶
主	材	ジョリパット不燃 JQ-200シリーズ 標準色 JQ-200、JQ-□□□□ (□…数字) 特注色 JQ - 200△○○ (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	2 O kgペール缶	約11㎡/缶
骨	材	J F — 1	寒水石 1 厘	2 O kg袋	約13㎡/袋

# <主な施工道具>

- ・ステンレスゴテ
- ・校倉専用クシ目ゴテ(JR-71)

## <下地調整>

標準下地は、石膏ボード(プラスターボード)又はモルタルとする。

## <校倉S仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合 JS-500 18kg

清 水 18%

塗布量 0.07kg/㎡

施工方法 ローラー刷毛又はスプレーガン

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・ジョリパット不燃を無希釈で O. 9 kg/m²となるよう ステンレスゴテで平滑に塗布する。

夏期 4時間以上 冬期12時間以上

◎乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合 JQ-200シリーズ 20kg

寒水石 1厘 30kg

清 水 3~4 次

塗布量 約2.5 kg/m³施工道具 ステンレスゴテ

ステンレスゴテで平滑になるように材料

を配る。(厚さ3~4mm程度)

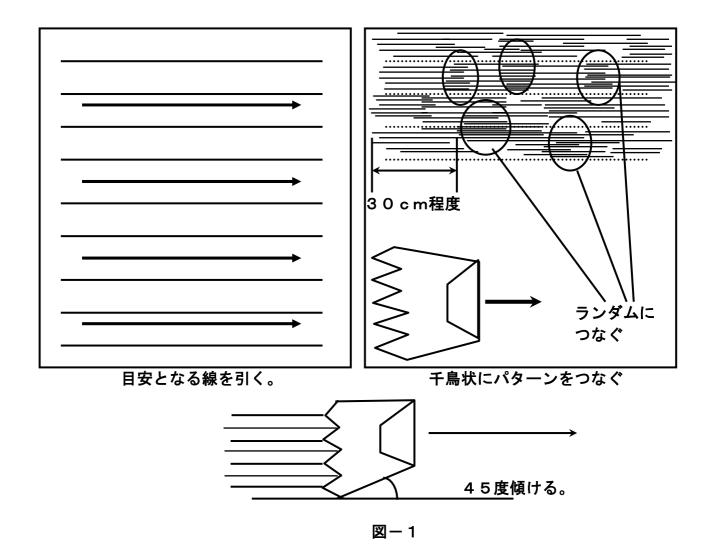
追かけ塗り(5分以内)

4. パターン付け

・校倉専用クシ目コテJR-71を横方向にランダムに引き(図-1)、パターンを付ける。

#### <施工のポイント>

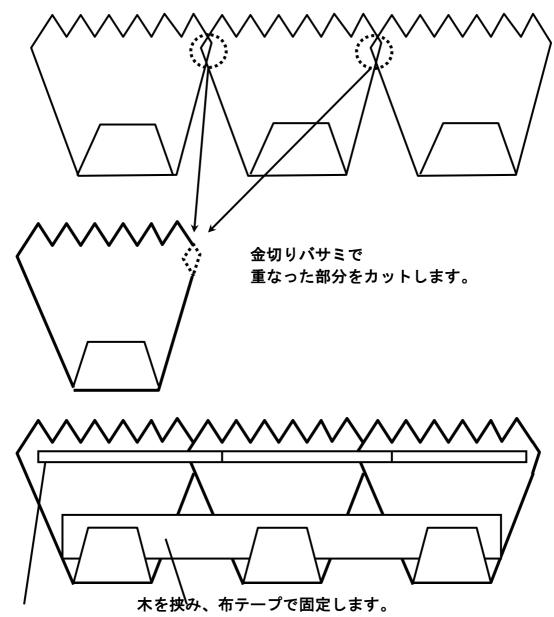
- ・ 最初に目安となる線を横方向に引く。この線を基準線として、細かいパターン付けを 行う。
- ・ 次にクシ目のジョイント部分が目立たないよう、千鳥状に模様を付ける。細かくパターン付けを行うと、パターンつなぎが目立ちにくくなり、バランスのとれた仕上がりになる。(図-1)
- ・ クシ目ゴテは、パターン付けを行う進行方向に対して、45度程度傾けてパターン付 けを行う。



大壁を仕上げる際、作業性をアップする為、大きいクシ目ゴテを作製すると便利です。(図-2、3)

#### <大型クシ目コテの作製方法>

・ 校倉専用クシ目ゴテJR-71(5枚/箱)を2~3枚つなげて、布テープと木で固定します。(図-2)残ったクシ目ゴテは、細かい部分の施工に使用して下さい。

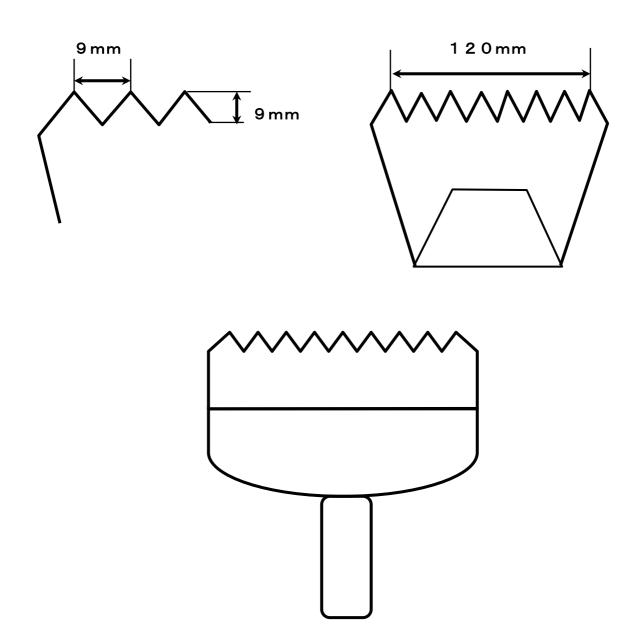


割り箸又は木をあてがい、布テープで固定します。 (くしがパターン付けの際、ゆがまないようにする為)

図-2

・ 市販のパテベラ(金ベラ)を金切りばさみでカットしても大型クシ目ゴテは作製できます。(図-3)

### <校倉専用クシ目ゴテJR-71の形状>



・ 校倉専用クシ目ゴテのピッチに合わせて、金切りバサミでカットします。

図 — 3

#### <注意事項>

- ・施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・ 材料の練混ぜはハンドミキサーなど機械練りとし、均一になるまで十分に練り合わせて下さい。
- 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- · 同一面は連続して施工して下さい。(気温・湿度・風等により、色調が異なることがあります。)
- · パターンを付ける際、ラインが蛇行したり斜めに下がったりしないよう注意して下さい。
- ・ 材料の塊(クズ)が壁面に残らないよう、クシ目ゴテに付着した材料は、コテ板やウエスなどでかき取り、きれいにして下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。(特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- · 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ※ 校倉のパターンを真っ直ぐ、きれいにつなぐことは、気象条件、足場、施工人工、施工技術などの関係で困難です。詳しくは、各営業店所に御相談下さい。

以上